| | |
|---|---|
| 事例No. | 1798 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 一般市 |
| 団体名 | 千葉県習志野市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・下水道事業<br>・（行政改革）業務の効率化<br>・公共施設の集約化等 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 包括委託 |

事例内容・タイトル

汚水処理業務の包括的民間委託

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

# 【千葉県習志野市】
# 汚水処理業務の包括的民間委託

**包括委託** **下水道事業**

千葉県習志野市企業局工務部津田沼浄化センター

## ● 取組の概要

終末処理場及びポンプ場の維持管理に関し、コスト縮減のため、包括的民間委託を行った。

**◆総事業費**　委託料　3,023,892千円

**◆背景**

- 処理場及びポンプ場の機能を安定かつ恒久的に維持管理していくためには、多くの人員と多額の費用が必要である。
- 民間事業者の有する知識・技術を積極的に活用することにより、コストの縮減、経営や企画など事業マネジメントに関する技術力の蓄積が見込まれる。
- これらのことから、維持管理に関し包括的民間委託を実施することとした。

**◆具体的内容**

- 処理場及びポンプ場の運転管理、施設管理、ユーティリティ（電力、薬品等）管理及び小規模修繕工事等の業務を包括的に5年契約で民間委託した。

**◆効果**

- 複数の業務を複数年まとめて委託することにより、5年間で約125,000千円の維持管理費が削減された。
- また、契約件数及び支払回数が減少することによって、事務量が軽減し、職員数が2割削減された。

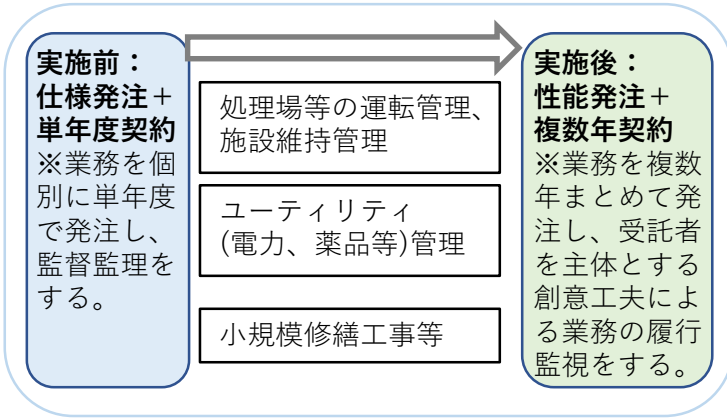
## ● 取組のポイント

- 水質等の要求水準を定めることにより、受託者の責任を明らかにするとともに、薬品等の添加時の水質基準値を定め、余分な薬品を使わないようにすること及び適正な送風機の風量調整を行い、電気料金の削減が見込める。
- 汚泥含水率の設定では、含水率の季節変動が大きく、数値を低く設定すれば処分量が削減できるものの、脱水機の動力費が上昇するなど、数値の設定に苦慮した。
- 受託者の創意工夫として、アンモニア・硝酸計を導入し、水質の安定を図るため窒素の処理状況を数値化して把握することにより、無駄のない空気量の調整を行い電気料金削減、水質の安定を図っている。

## ● 公営企業情報

- 行政区域内人口　176,311人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　20.97km$^2$（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　167,287人（令和3年度決算）

汚水処理事業の民間活用イメージ




## ● 取組のスケジュール

- 平成28年度により準備を開始し、平成29年度に入札公告、入札・契約を行った。
- 包括委託期間（第1期目）　平成30年4月1日～令和5年3月31日。

## ● 今後の展望

- 第2期目の包括委託にあたっては、発生した脱水汚泥の収集・運搬、処分も委託業務に含め、入札を実施し、令和5年4月1日から業務開始。